



# 風の子

糸魚川市立木浦小学校

H30 学校だより No.9

平成 30 年9月 25 日発行



秋桜風にゆれ

## 私たちはゆずらない メディア利用のルールをめぐり

校長 富永 浩文

「中高生ネット依存 7人に1人」 9月1日(土)の朝刊に衝撃的な報道がなされました。子どもたちのネット依存が急速に広がっているというのです。コンピュータ、スマートフォン、ゲーム機等の電子メディアを利用した活動に没頭するあまり、やめられない、抜け出せないという依存症になるのです。

ネット依存の問題は、これまでも対応策について議論されてきました。糸魚川市でも中学生のネット使用について生徒会交流会が自主的にルールを作り、啓発活動を行ってきました。また、能生中学校区でも、メディア利用のルールとして2時間を上限とする目標を設定するとともに、各学校において実践に取り組んできました。しかし、引きこもり、暴力、生活習慣の乱れ、学習意欲の低下、人間関係トラブル等、多くの問題の発生はとまりません。問題



が低年齢化する傾向もあります。

本年度、市のPTA連絡協議会では、電子メディア・親のルール策定案を提示しました。教育委員会でも「小学生ネット・電子メディアの利用の約束」(案)を示しました。当校でもこれを受け、1学期子どもたちと話し合いをもちました。この流れを生かして、各校PTAとしてもネット・電子メディア利用のルールを策定することが必要です。

上教大 田辺先生の話に聞き入る そんな中、6日(木)学校保健委員会において「ネット社会の光と影」と題して、これからのメディアとのつきあい方について親子で真剣に学習しました。そして、PTA役員さんの主体性を生かし、「木浦小学校PTA ネット・電子メディア利用のルール」(案)を作成することができました。さらに11日(火)の全体会でその案が承認され、各家庭での話し合いのもと我が家のルールを作成し、実践することとなりました。

保護者の皆さんの主体的な取組に心から敬意を表します。保護者として、子どもたちに責任をもって範を示し、毅然としてルールの徹底を図る姿勢が必要と考えます。子どもたちの未来を守り、自立を促すのは大人の大切な責務です。市では、0歳から18歳までの子ども一貫教育方針を掲げ、「瞳輝く日本一の子ども」を育てる取組を行っています。心、体、学力のどの内容においても、メディア利用についてのルール作りが示されています。私たちはゆずらない覚悟をもって、互いに足並みをそろえて子どもたちの健全な育成に取り組んでいきましょう。



子どもたち、保護者から驚きの声も

△ 木浦小学校 PTA のルール

**木浦小学校PTA  
ネット・電子メディア利用**

だれもきずつけない。  
だれも悲しませない。

みんなが守る。  
みんなが幸せになる。

# ルール

利用時間を守ります。  
ゲーム・テレビを含め合計2時間まで  
友だちとの通信は午後7時まで

相手がいやな気持ちになる言葉は使いません。

かってに写真、動画をネットにアップしません。

利用できる年れいを守ります。

トラブルが発生したらすぐ大人に知らせます。

家庭での約束を守ります。

糸魚川市小学生 ネット・電子メディア利用 三つの約束  
糸魚川市PTA連絡協議会 電子メディア・親のルール策定案 をもとに作成

**木浦小学校PTA  
ネット・電子メディア利用**

みんなで上手に使おう

みんなで上手につきあおう

# わが家のルール

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

ルールが守れないときは、利用をやめます。 名前く

▽ PTAのルールをもとに家庭のルールを作成

○子どもたちは大人のことを見えています。周りの大人も気をつけて利用していきましょう。

## 感謝の気持ちを行動に なかよしクラブの皆さんとの交流

9月14日（金）の午前中、日頃からお世話になっている公民館への感謝の気持ちを込めてクリーン活動を行ったり、地域のなかよしクラブの皆さんと交流を行ったりしました。

前半のクリーン活動では、なかよしクラブの皆さんと一緒に、各部屋の拭き掃除や玄関の掃き掃除、ガラス磨きなどを一生懸命に行いました。普段気づかなかった汚れを雑巾で丁寧に拭きました。また、時折和やかにお話をしながら協力して掃除をしました。1時間ほどの作業でしたが、見違えるようにきれいになりました。磯谷公民館長さんも喜んでくださいました。子どもたちの表情には、充実感とすがすがしさが表れていました。

後半は、低・中・高学年に分かれて、生活科、総合の学習で交流を行いました。低学年は、昔の遊びをとおして、中学年は、木浦の素敵、宝物についてのインタビューをとおして、そして、高学年は、木浦の食についてのインタビューをとおして、それぞれなかよしクラブの皆さんと交流しました。子どもたちは大喜びで昔の遊びに興じました。初めて耳にする木浦の素敵な場所や昔のくらしの様子、食にまつわるお話に、目を輝かして、じっと聴き入りました。

なかよしクラブのみなさんは、優しい眼差しで子どもたちに語りかけてくださいました。終始笑顔で子どもたちと交流してくださいました。たくさんのお元気をいただいたような気がします。このような形で地域のみなさんとかかわっていければいいなと感じました。これからもよろしくお願ひいたします。



木浦の宝物や昔の食について教えていただきました。



公民館に感謝の気持ちを込めて掃除しました。

